

施工説明書 (便器取付け工事店様向け)

TOTO

ハイドロセラ・フロアJ

AGF3** / AGF4**

商品の機能が十分発揮されるように、本説明書の内容を十分ご理解のうえ、正しく施工してください。

安全に関するご注意

■安全のために必ずお守りください。

本施工説明書では「警告」「注意」を、下のような定義で使用しています。

警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

・工具使用の際は、保護具を着用し、工具の取扱い説明書に従って、安全に使用すること。

古紙 100%リサイクル紙と植物性大豆インキを使用しています

注意

- ・ハイドロセラ・フロアJに、衝撃を与えないこと。
(破損してケガをする恐れがあります。施工後は、表面を養生してください。)
- ・ハイドロセラ・フロアJの外周部は、鋭利になっているので、施工中の取扱いに注意すること。
(ケガをする恐れがあります。)
- ・ハイドロセラ・フロアJは、セラミックなので、運搬などの施工中の取扱いに注意すること。
(破損してケガをする恐れがあります。)
- ・ハイドロセラ・フロアJとフローリングなどの他部材との取り付け部の段差をなくすこと。
(つまずきやひっかかりで、ケガをする恐れがあります。)
- ・ハイドロセラ・フロアJにワックスをかけないこと。
(滑りやすく危険です。)

施工前の注意事項




施工に関するご注意

注意

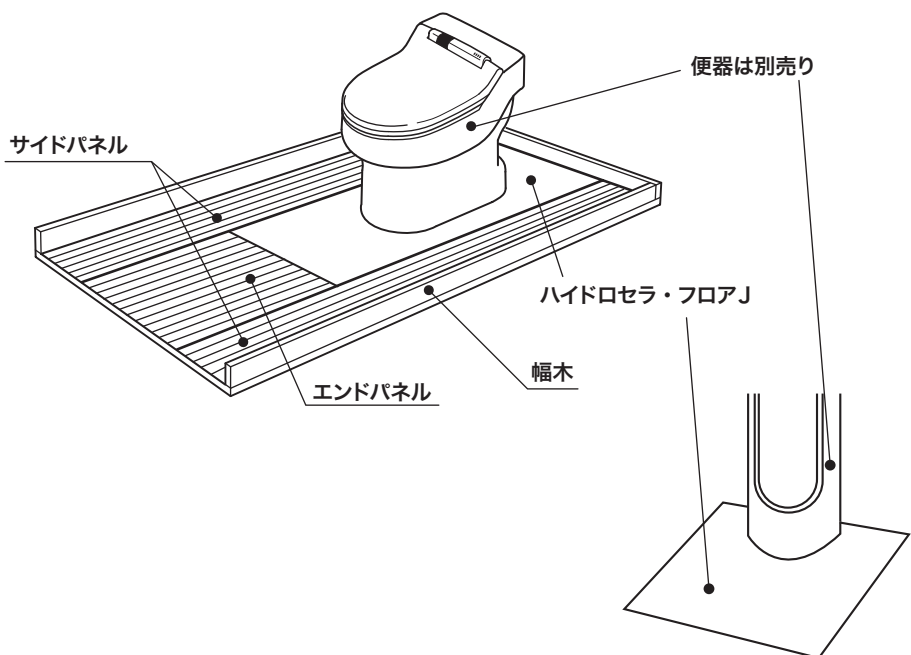
- AGF300/400/311は必ず、排水管を立ち上げ直し、フランジを新設すること。
- ・新設しない場合、漏水する恐れがあります。
- ・既設フランジは使用できません。
- ・AGF300/302/400/402/311/312以外の、AGF3**/4**は、リモデル便器専用です。排水アジャスタを使用し、そのまま既設フランジを使用できます。
- 排水アジャスタとフランジ用嵩上げ部材は、塩ビ用接着剤で確実に接着すること。
- ・接着が不十分だと、漏水する恐れがあります。(AGF300/302/400/402/311/312以外の、AGF3**/4**)
- 施工中は、セラミックパネル表面に傷や金属痕が付かないよう養生を行うこと。

開梱作業

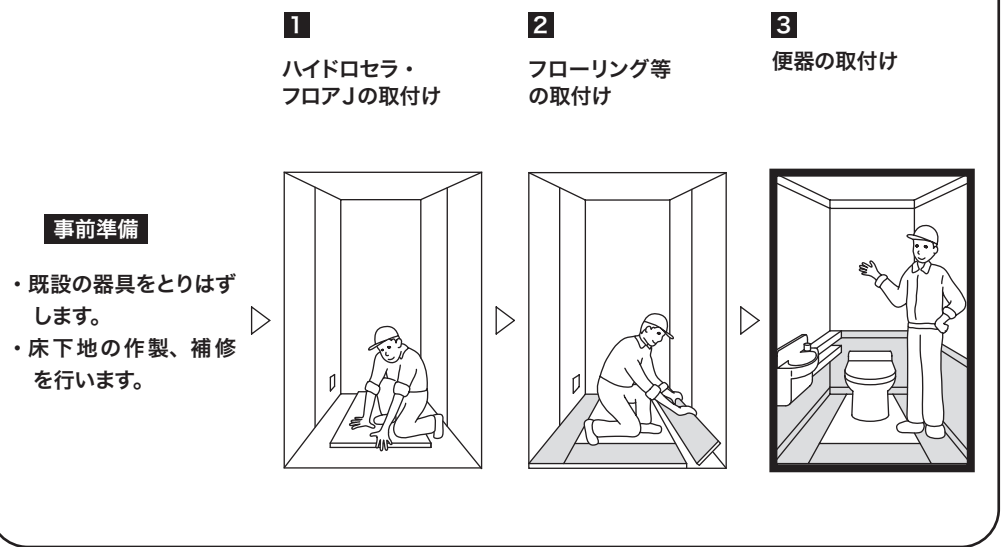
下表を参照して確認してください。

名称	部材名称	個数	略図	備考
便器取付け部材 ※AGF300/302/311/ 312/400/402の場合、 フランジ用嵩上げ部材が 付属していません。	ドリル刃	1本		
	施工説明書 (便器取付け工事店様向け)	1枚		本書
	(フランジ用嵩上げ部材)	1個		

施工完成図



施工の流れ



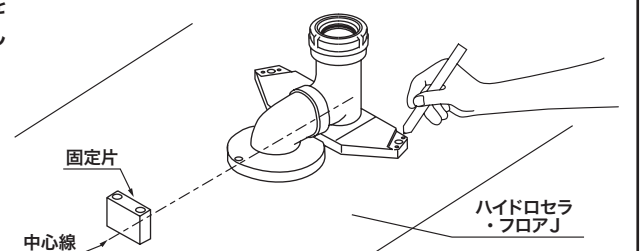
便器の取付け

・便器の取付けの詳細は、便器の施工説明書をご覧ください。

一般大便器の場合

① フランジ・固定片のビス位置の墨出し

・型紙や仮置きで、ビス固定位置をハイドロセラ・フロアJに墨出しします。



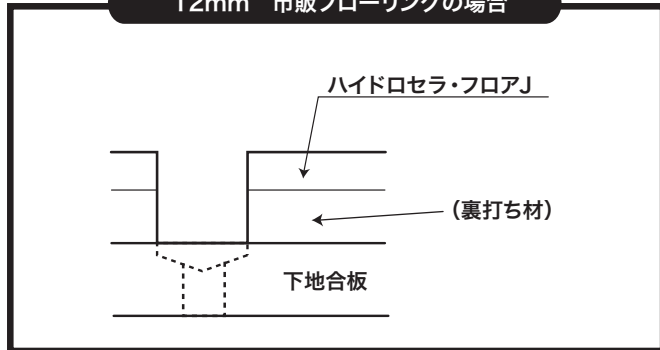
② 下穴加工

- 1) 同梱のドリル刃で、ハイドロセラ・フロアJ（裏打ち板含む）に下穴をあけます。
- 2) 木のドリル刃（現場手配）で、下地合板にビス用の下穴加工を行います。
（下穴の径は取付ける大便器の施工説明書でご確認ください。）

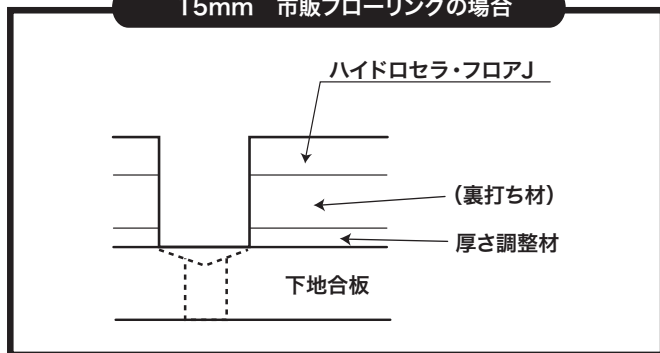
⚠ 注意

- ・ビス用の下穴は専用ドリルであけた穴の中央にあけること。

12mm 市販フローリングの場合



15mm 市販フローリングの場合



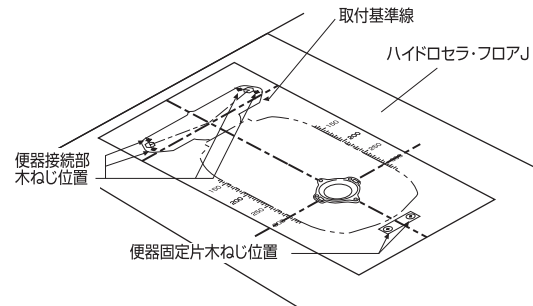
5

リモデル便器の場合

- ・リモデル便器を使用して、既設のフランジをそのまま利用します。

① フランジ、固定片のビス位置の墨出し

- ・取付基準線から壁までの寸法の位置決めを行った排水アジャスタの便器接続部と便器固定の木ねじ位置を罫書きします。
- ・詳細はリモデル便器の施工説明書を確認して下さい。



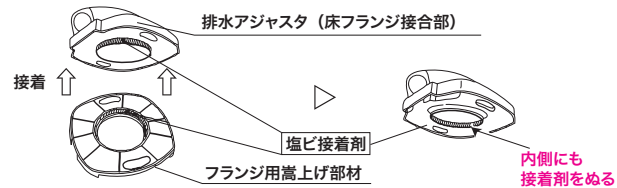
⚠ 注意

- ・既設他社フランジが嵩上げ部材と干渉する場合は嵩上げ部材を削るか、TOTO 製フランジに取り替えること。（漏水の恐れがあります。）

② 排水アジャスタの組み立て

- ・排水アジャスタの床フランジ接合部とフランジ用嵩上げ部材を接着します。

 - 1) 排水アジャスタと嵩上げ部材の接着する部分にそれぞれ塩ビ用接着剤を均一にぬります。
 - 2) 接合部のズレがないように接着します。
 - 3) 接着した部分の裏面からも塩ビ用接着剤をぬります。

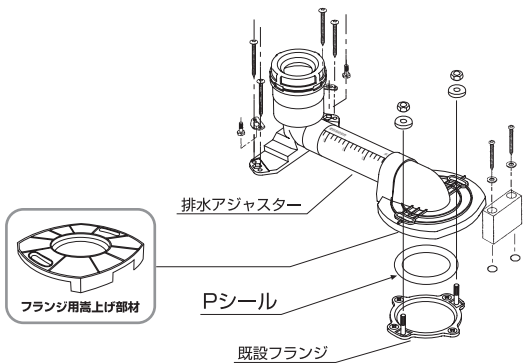


⚠ 注意

- ・完全に接着硬化するまで、しっかりおさえること。
（接着が不十分だと漏水するおそれがあります。）

6

③ 排水アジャスタ、便器固定片の取付け



⚠ 注意

- ・既設の床フランジのタイプに合わせ、金属フランジ用Pシールまたは、樹脂フランジ用Pシールを使用すること。
（漏水する恐れがあります。）

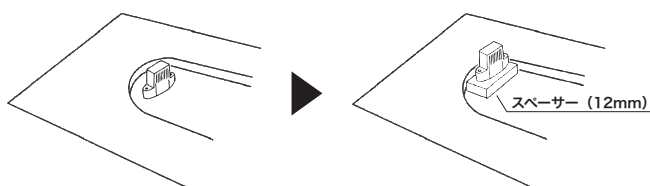
- 1) 同梱のドリル刃で、ハイドロセラ・フロアJ（裏打ち板含む）に下穴をあけます。
- 2) ビス固定を行います。

⚠ 注意

- ・回転ドリルを使用すること。（振動ドリルは使用しないでください。）
- ・下地合板は穴あけしないこと。（ビスが効かなくなります。）
- ・増し締めは、必ず手締めすること。
（電動ドライバーで一気に締め込むと、われの原因になります。）

⚠ 注意

- ・ハイドロセラ・フロアJの穴の中に木ねじの固定位置が干渉した場合は、12mm 程度のスペーサー（合板など）を現場調達し、挟み込むこと。



7

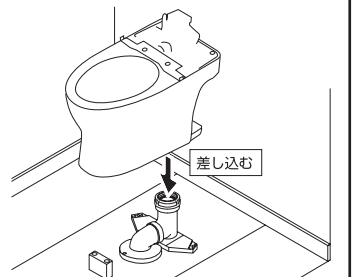
一般大便器・リモデル便器共通

④ 便器設置

- ・フランジと便器を固定します。

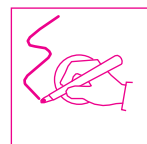
⚠ 注意

- ・便器は静かに設置すること。
（衝撃によって割れる恐れがあります。）
- ・便器をナット締め固定する場合、ナットの締めすぎに注意すること。（締めすぎるとハイドロセラ・フロアJが割れることがあります。）

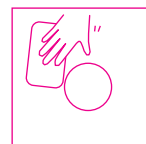


⑤ 施工後の確認

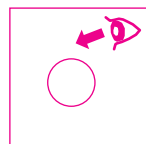
- ・ハイドロセラ・フロアJ表面に、割れ（クラック）がないか、確認してください。
- ・割れ（クラック）は、大変細いので、下記方法にて確認してください。



水性マジックで穴まわりを汚す。

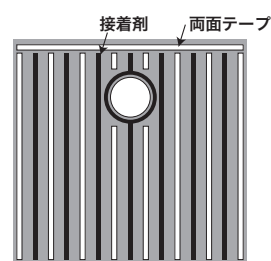


堅くしぼった濡れ雑巾で汚れをおとす。



表面に割れ（クラック）がないかよくみる。

小便器施工のポイント



- 1) 接着剤の塗布方法は大便器と同様に塗布します。
- 2) 同梱ドリルでハイドロセラ・フロアJに下穴加工します。
下穴の加工方法についてはP5を参照ください。

8